

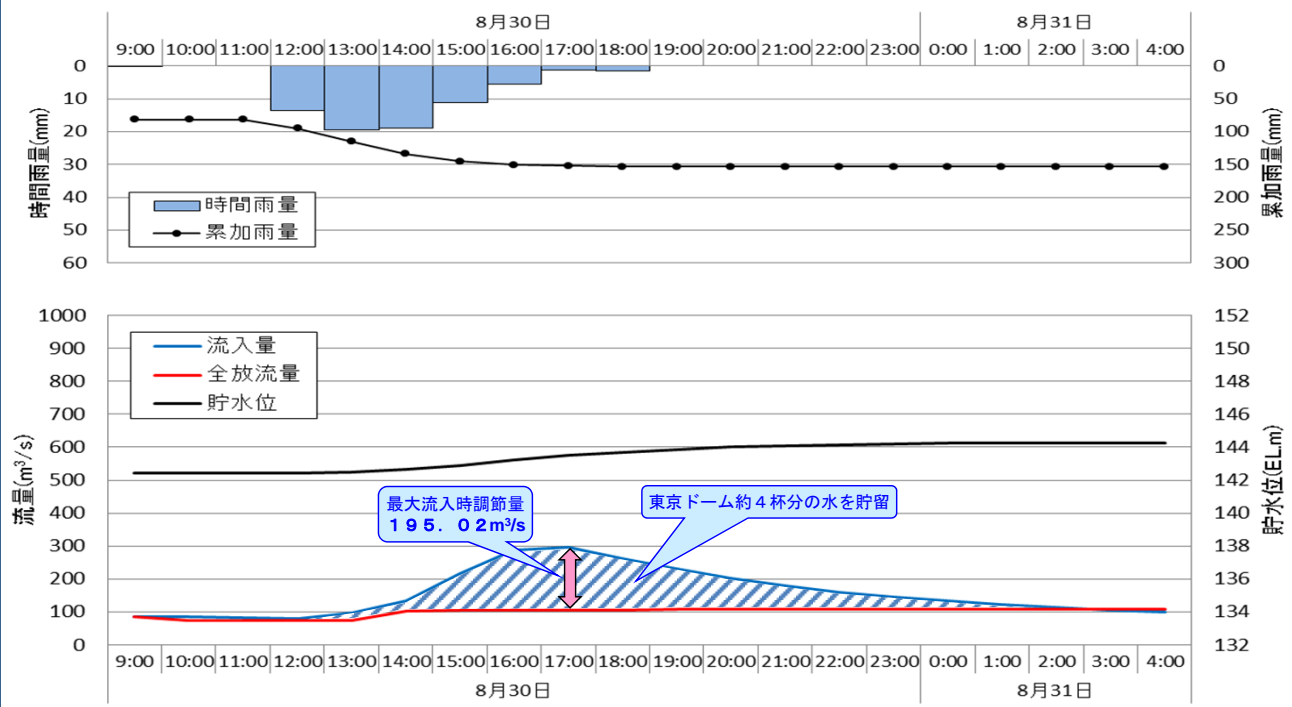
# 名取川水系 釜房ダムの水位低減効果（平成28年8月30日台風10号に伴う降雨）

- 釜房ダム上流域において、流域平均累加雨量は153.3mm、最大流入量は毎秒301m<sup>3</sup>となる流入量を記録しました。
- 今回の洪水期間中において、**440万m<sup>3</sup>**（東京ドーム約4杯分）の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減を図りました。
- 釜房ダムでは、仙台河川国道事務所と連携し、**下流域の被害をできるだけ軽減**するためのダム操作を行いました。
- ダム下流の名取橋観測所地点では、**44cm**の水位を低減させる効果があったものと推測されます。

## 位置図

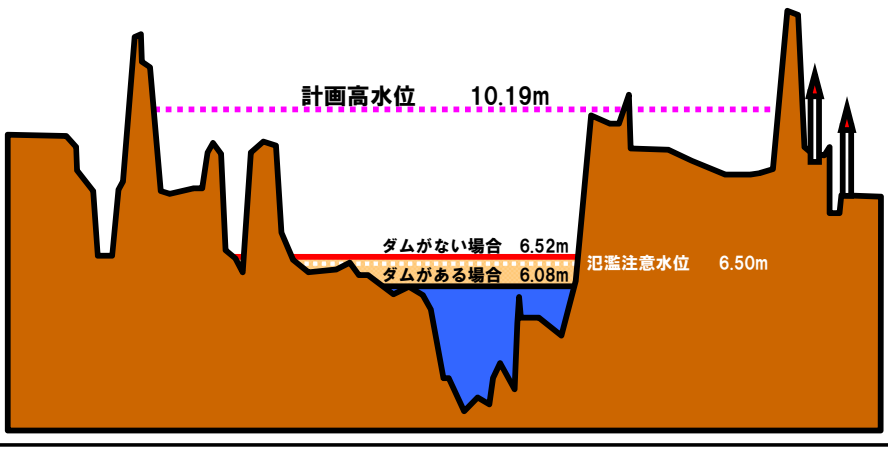


## 釜房ダム洪水調節状況



## 河川水位の状況（名取橋観測所）

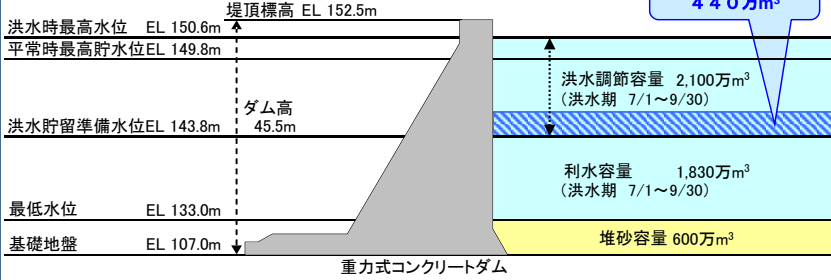
ダム整備前：6.52m  
 ダム整備後：6.08m  
 →44cmの水位低減



## 釜房ダム状況写真（貯水位ピーク時）



## 釜房ダム貯水量配分



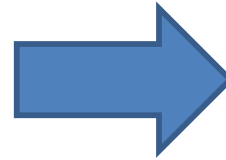
# 名取川水系 釜房ダムの水位低減効果（平成28年8月30日台風10号に伴う降雨）

## 釜房ダム貯留状況

防災操作前



8月30日 貯水位：142.41m



防災操作後



8月31日 調節時最高貯水位：144.26m  
貯め込んだ最大高さ：1.85m  
貯め込んだ全体量：440万m<sup>3</sup>